

大会名称: 第12回全日本社会人バスケットボール選手権大会
兼 第92回天皇杯・第83回皇后杯 全日本総合バスケットボール選手権大会予選

開催場所: ジップアリーナ岡山 Bコート

試合区分: No. 26 男子 3位決定戦

期 日: 2016(H28)年11月6日(日)

主審: 山崎 誠二

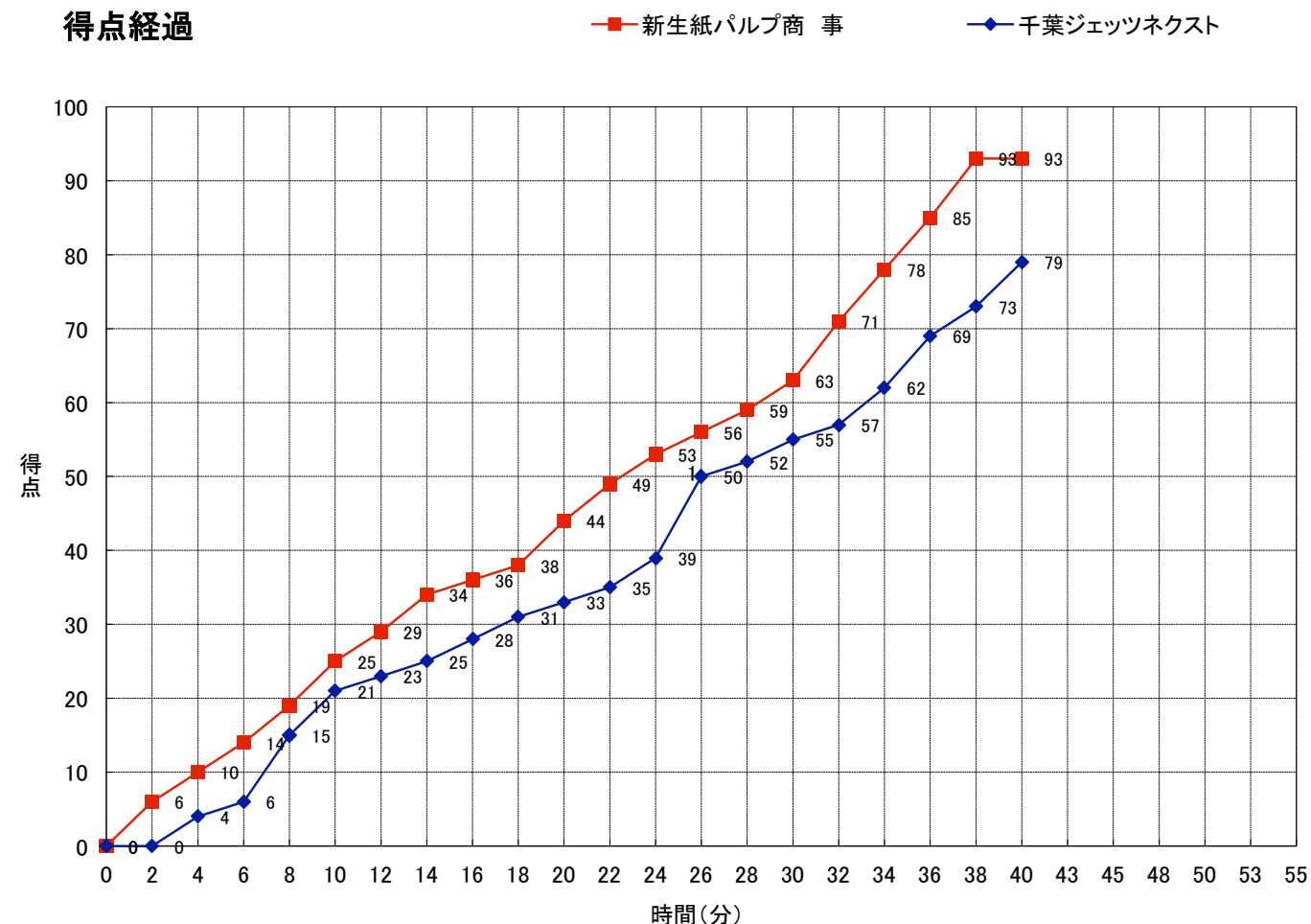
開始時間: 12:50

副審: 本間 充:紀ノ岡 哲士

新生紙パルプ商事						千葉ジェッツネクスト									
○ 93						● 79									
(実6・関東)						(ク7・千葉)									
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
0	*	流田 和輝	0	0	0	0	0	1		崎元 康弘	0	0	0	0	1
3		立花 大介	15	3	3	0	1	2	*	長田 茂雄	26	6	4	0	0
4	*	高崎 陽平	7	1	0	4	2	5		中村 将大	-	-	-	-	-
5		近森 洋介	0	0	0	0	0	7		古牧 昌也	16	0	7	2	0
6	*	高田 歳也	17	3	4	0	2	###	*	#N/A	###	###	###	###	###
8		出羽 峻一	15	0	5	5	1	9		松本 昌也	0	0	0	0	0
14		有田 一哉	-	-	-	-	-	10	*	森田 章仁	2	0	0	2	3
16	*	沼田 凌	12	0	6	0	2	11		田中 恭平	-	-	-	-	-
27		宇田川 一馬	9	1	2	2	2	14		宍倉 光	-	-	-	-	-
33		遠藤 純二郎	10	0	5	0	1	16		横山 拓巳	-	-	-	-	-
45		頓宮 裕人	-	-	-	-	-	23	*	日影 カイル	19	0	8	3	1
55		大熊 俊喜	0	0	0	0	0	24		横銭 竜平	-	-	-	-	-
61	*	坂口 貫	8	2	1	0	2	30		津川 隆治	0	0	0	0	2
								44		八木 健太	-	-	-	-	-
								54	*	上村 健太	2	0	1	0	0
								77		八木 祥太	-	-	-	-	-
		/ TEAM								/ TEAM					
		合計	93	10	26	11	13			合計	79	6	26	9	11

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファール

得点経過



ゲームレポート

1P:新生紙パルプはマンツーマン、千葉ジェッツネクストは2-3ゾーンで試合が始まる。新生紙パルプは#61坂口、#4高崎、#6高田の3Pが効果的に決まり試合を優位に進める。一方千葉ジェッツネクストは#8劉のリバウンドシュート、#23日影、#7古牧のファーストブレイクから得点を重ね25-21で1Pを終える。

2P:新生紙パルプはアウトサイドシュートが思うように決まらなくなるが、その後#8出羽のゴール下への合わせやフリースロー、#16沼田のジャンプシュートなどで得点を重ね、千葉ジェッツネクストはすかさずタイムアウト。千葉ジェッツネクストは#2長田が速攻から3ポイントを決めるも新生紙パルプ#33遠藤がカットインで応酬するなどし、2Pを44-33とその差を11点と広げられた。

3P:開始早々#61坂口の3ポイント、#6高田の連続シュートで更にリードを広げたが、千葉ジェッツネクストも#7古牧、#8劉のファーストブレイク、#2長田の3ポイントで点差を1桁まで詰めたところで新生紙パルプがタイムアウト。その後#8劉のフリースロー、#23日影がゴール下を頑張り56-50と詰め寄るが、#3立花の3ポイントの後一進一退の攻防が続く3Pを63-55で終える。

4P:千葉ジェッツネクストは#8劉のポストプレイを起点に反撃を試みるが、新生紙パルプ#3立花のアシスト・3ポイントシュートが冴え、逆にその差を広げられてしまう。その後千葉は逆転を狙い3ポイントを放つがごとく外れ、逆に新生紙パルプは#27宇田川の3ポイントや#33遠藤がミドルシュートを決める。千葉は#2長田が3ポイントを2本続けて決めるも及ばず93-79と終始新生紙パルプがリードを保ったまま3位決定戦を終えた。